



発行年月 2001年10月
 発行所 岡山県訪問看護ステーション
 連絡協議会
 ☎700-0805
 岡山市兵団4-31
 TEL086-235-0225
 発行責任者 若林 敏子



会長就任二年目を迎えて

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会会長

若林 敏子

今年の夏は、梅雨明け前から猛暑が続き、何とも厳しいものでした。そうした中でも秋の訪れと共に季節の変化は着実に動いているのを実感する昨今です。会員の皆様方にはご健勝で在宅ケアの充実発展にご尽力いただき、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

平素は、当協議会の事業推進につきまして、ご支援、ご協力頂き厚く感謝申し上げます。

さて、私も会長就任二年目を迎え、微力ながら協議会の充実発展に努めてまいりましたが果たして、お役に立てたか否か自問自答しております。一方、協議会も会員数が増え、団体として成長成熟し、協議会としての期待と共に役割も果たし、社会からの評価も高くなってきているところでございます。そうした、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会も、今年が設立五周年を迎え、記念として、五周年記念誌を発刊することができました。これも一重に会員の皆様方のご尽力と感謝いたしております。また、本年三月には、看護会館内の一部をお借りし、独自の事務所を構えることが出来ました。そして専任の事務職員二名を配置し、事務局の充実強化とともに効率的かつ効果的な事務機能に努めております。二十一世紀を迎え、高齢社

会はずまず進展する中、医療の高度化と共に入院期間の短縮と相俟つて、早期退院による在宅療養者の増加は、在宅医療、在宅ケアの推進と医療依存度の高い利用者が増加し、訪問看護サービスを巡る環境は大きく変化し、訪問看護者への期待と需要がますます高まっております。今世紀はケアの時代ともいわれています。特に、訪問看護の量的確保と共に質的確保が求められています。そして訪問看護の特性から訪問看護従事者一人一人が専門職としてのキャリア開発を図り、地域社会のニーズに

応えて安全に信頼のおける質の高い訪問看護サービス提供に努めていかなければなりません。

一方で、訪問看護職にとって魅力ある職場の一つとして、また、地域社会にとっては頼りにできる在宅サービスの一つとして訪問看護事業所を地域に定着させる事も涵養です。当協議会として、そのために必要な事業を行い、さらに、資質向上を図るための教育研修をも計画し、皆様の期待に添えたいと考えています。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。皆様方のご活躍をお祈りいたします。

最後に、会報二号発刊にあたり、原稿をお寄せ頂きました皆様方に御礼申し上げます。感謝申し上げます。

新設ステーション紹介

NPO法人
訪問看護ステーション

「シーザル」

管理者 山下幸恵



障害をもっても

輝いて生きる

訪問看護ステーション「シーザル」は、岡山市西市の地域を拠点とした、地域密着型の事業所です。同事業所内にケアプラン策定事業所「シーザル」も併設しております。

訪問件数は少ない現状にありますが、医師や看護婦・作業療法士など専任スタッフが所属しております。

【支ええられ、映かせよう、ゆとりの花を】をスローガンに、地域のボランティア活動に参加したり、健康・福祉に関する相談窓口や学習会を開催し、地域の方々との交流を大切にしています。

シーザルは、今後とも、共に学びあうことを大切に、きめ細やかなサービスに心がけ、利用者が障害をもつても輝いて生活できるように支援を続けていきたいと思っております。歩み始めたシーザルをよろしくお願いたします。

平成13年度訪問看護従事者研修年間計画について

年月日	内容(テーマ)	会場
H13年 11月17日(土)	公開講座 呼吸器の管理とチューブ管理	駅前みよしの
H13年 11月29日(木)	岡山市合同 感染症の看護について MRSA(C型肝炎について)	岡山県看護研修センター
H13年 12月1日(土)	面接・技術の向上 人間性を高めるためのカウンセリング	岡山県看護研修センター
H14年 1月	ケアマネジメントの機能と役割 他職種との連携 (特にケアマネジャー)	岡山県看護研修センター
H14年 2月	事例検討会(岡山) 「訪問看護記録の実際と検討」 —看護記録を作成してみよう—	岡山県看護研修センター

身体拘束相談窓口の設置について

県では、身体拘束についての相談に応じる窓口を設けました。

相談窓口

岡山県高齢者サービス相談センター「身体拘束相談窓口」
 電話(086) 222-4125(専用相談電話)
 FAX(086) 225-1660
 〒700-0855 岡山市田町一三十一 岡山県産業会館階

相談日

毎週月曜日(祝日等を除く)午後二時〜午後四時

相談方法

- 来所、電話、手紙、FAXで承ります。
- 専門の相談員が、相談をお受けします。
- 相談の予約は、土・日・祝日等を除く午前九時〜午後四時
- その他
- 相談は無料です。
- 秘密は厳守いたしますので、お気軽にご相談ください。

ステーションからのリレーだより

体力あっての訪問看護

訪問看護ステーション レモン 竹内 恭子

私たちレモンのスタッフは、あの酸っぱいレモンのように、スッキリさわやかな笑顔をモットーに日々頑張っています。とはいえ、酷暑といえるこの夏、日頃の体力のなさを実感！看護婦自身が健康でなければいけないのに、これでは利用者の方々に元気をあげられない・・・体力づくりといつても仕事を終えてからの運動は無理、時間が無い。そこで思いついたのがラジオ体操です。これはお金も時間もかからない手軽な全身運動です。

一生懸命すれば汗が出、始めは少々筋肉痛もあります。後の爽快感、元気が湧いてくる；です。今では体操をしないと何だか身体が変なのですから不思議なものです。これを機会に体操を続け健康で、利用者の方々の看護をしていきたいと思います。

疲労回復、元気の素

ヘイセイ訪問看護ステーション 山手 西中 福美

この三月に出産し、初めての子育ての日々を今過しています。毎日、異なった表情や行動を見せながら成長している子供の姿はいと美しく、それを見ていることのできる嬉しさは、ステーションの方々には迷惑をかけていると感じながらも、育児休暇をとり、本当に良かったと思わずにはいられません。子供のリズムに合わせての生活は、私が思っていた以上に大変で、睡眠不足が続いたり、理由のわからない大泣きをされた時など、イライラしたり、時には子供と一緒に泣きたくなるような時もあり、親の苦勞やありがたさが、親になった時初めてわかるといった言葉の意味を子育ては始まったばかりですが痛感しています。そんな中、子供の見せてくれるとびきりの笑顔が今の私の疲労回復の素となっています。家庭での介護には、不安と疲労はつきもの。私たちの訪問も、介護する人にとつても介護を受ける人にとつても、疲労回復、元気の素となるようなものにしたいです。

退任のあいさつ

前事務局 吉田 美栄子

訪問看護ステーションの名前さえも知らなかった者が、ある日突然事務局を任せられたように舅の介護も前ぶれもなくやってきました。介護保険を申請しケアマネジャーさんにも来てもらい、福祉用具を借り訪問看護ステーションも利用する立場となりました。この四年間に皆さんと共に学んだことが、現実のものとして我身にかえてくることになり、皆さんのご苦勞をほんの少しだけ理解することができ訪問看護ステーションの持つ意味を考えさせられました。力不足の私を皆さんには助けていただくのみで、十分なお役に立てないままお別れすることは心残りではございますが、ここでの出会い

があつたからこそ在宅で舅を看ようという決心できたのかもしれない。この時のために勉強せよと神様から私に与えられた四年間だったような気がして、会長さんをはじめ皆さんには感謝の気持ちでいっぱいでございます。特に最後の一年間は、恩師である会長さんとともに仕事ができ、学生時代に戻ったような嬉しい毎日でした。いきなりとび込んだ介護や看護に戸惑いや不安の中で、訪問看護婦の皆さんが神様のように思えたことも度々でした。心身共に気の休まることのない毎日と思いますが、どうぞ天職と考えて日夜ご活躍下さいますようにお願いいたします。最後になりましたが、皆さんのご

就任のあいさつ

佐々木 静

七月から吉田さんの後任でまいりました。よろしくお願い致します。

とばかり、周囲のやさしさに甘えながら約一ヶ月が過ぎました。その間、訪問看護婦さん達が、地域の人々の健康の支えとして日々努力・研鑽を積み重ねられている姿や、研修会・委員会などを通して、その内容が少しずつ解つてまいりました。それと共に、今は事務局の果たす役割の重要性に身の引きしまる思いであります。

以前、看護職に携わっていたので、看護に関係がある所なので何とかなるだろうと安易に考えて就職いたしました。実のところは、「訪問看護ステーション連絡協議会」の存在さえ知らない私でした。しかも事務関係は、解らないこ

微力ではございますが、少しでも、協議会が円滑に機能し、発展しますよう、努力したいと思っておりますので、ご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

健康とご多幸と、そして協議会の益々のご発展をお祈りして退職のご挨拶とさせていただきます。とりとめのない短歌ですが・・・。

介護の日がある日突然やってきて
我に大きな子供ができた
相手の立場理解しがたくなりし
舅もやっぱり家族ほつてはおけぬ
寝たきりになつてもいいから生きて
もう少し舅と呼ばせて下さい

「事務局より」
ステーションの管理者の変更があれば、早目に左記まで連絡して下さい。

連絡先 TEL086-2350-0355
FAX086-2350-0355
佐々木 静



編集後記

炎暑の夏も移り行き、爽やかな季節となりました。
汗を流しながらの訪問、本当にお疲れ様でした。
皆様の御協力のおかげで、五周年誌の発行が無事終了し、関係者の方々のお手元に届けられました。このことを編集委員一同、心より嬉しく思い、この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、この度「協議会だより」第二号をお届けします。第一号で名称を募集した結果、表記の名称に決定しました。今後、読んでちよつと思つけるような紙面作りに励んでいきたいと思っております。協議会だよりをかわいがって下さい。

広報委員 同